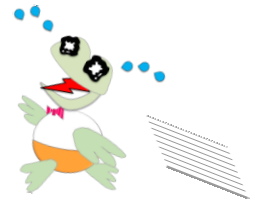


本年も

全速力で

カイゼンだ



昨年は皆様の高い意識とご協力により、たくさんのカイゼン事例報告をいただきました。しかし、

カイゼン運動に終わりはありません！
引き続き本年もよろしくお願いいたします。

カイゼン事例紹介

令和6年度カイゼン事例報告に対する職員投票の結果、上位4チームを除いて特に得票数が多かったカイゼン3事例について、皆様にご紹介します。

この他にもたくさん皆様の業務に役立ちそうなカイゼン事例がありましたので、順次ご紹介していきます。是非参考にしてください！

タイトル	kintoneを使った所持薬品台帳の整備（浄水課）
カイゼン前	改正労働安全衛生法に対応した薬品台帳が存在せず、リスクアセスメント、作業環境測定、特殊健康診断等のたびに関係法令と全薬品を照合して、対象物質を特定していたため、非常に時間と労力を要していた。
カイゼン内容	kintone上に「化学物質データベース」を作成し、関連情報の一元管理を可能とした、またデータベースと連携する「薬品台帳」も作成し、所持薬品と物質番号を入力すると各所属で所持している薬品のリスクと必要な法的対応についてのリストを自動で生成できるようにした。
カイゼン後	自動でデータが収集できるため、各作業の時間が激減した。また、法的対応の根拠が明確化し間違いがなくなった。
投票者からのコメント抜粋	・自所属でも薬品台帳の導入を検討したときがあったが、導入の仕方にもよるとは思うが、購入単位は市ではなく課ごとになるようであった。薬品を使用している複数の課及び職員の労働安全を担当する部署全てが使用することを考えると、 400万円以上の費用対効果が見込まれ、他の事例よりも優れていると考える。

ポイント1



「CAS RN」（化学物質ごとに割り振られた番号）を入力するだけで、その試薬の危険性や法的対応がデータベースから引用され表示されます（手動で追加もできます）。

ポイント2



リストから選ぶだけで「作業環境測定」や「特殊健康診断」などの法的対応薬品リストが作れます。確認漏れもなくなり、職員の安全性確保につながります。

タイトル	窓口対応の効率化（下水道整備課）	
カイゼン前	上下水道局は3課が配置（下水道整備課・下水道保全課・経営管理課）されているが、下水道整備課付近が来庁者入口になっている。そのため他課への来庁者があった場合、下水道整備課職員（限られた一部職員）が案内等の対応を行っている状態であった。また、来庁者が窓口で困惑している様子が見受けられた。来庁者が来るたびに業務が中断され、手間とタイムロスが多かった。	
カイゼン内容	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口の対応として、下水道整備課窓口カウンターに受付ブースを設置した。 ・一般の来局者と業者の方がわかりやすくするため、各課の受付業務内容と担当課へのアプローチ方法を掲示し、ブースに担当課へ来局を知らせるチャイムを設置した。 ・各担当課の内線電話番号を掲示し、カウンターに設置した電話機から内線で来局を知らせる方式も併せて導入した。 	
カイゼン後	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備課職員の窓口対応にかかる手間と時間が大幅に減少した。 ・来庁者にとっても窓口で困惑せず用件を済ませられるようになった。 	<div>ポイント</div> <p>電話機やチャイムを設置することで、毎回一次対応する必要がなくなりました。</p>
投票者からのコメント抜粋	<ul style="list-style-type: none"> ・同じような状況ですが、皆で窓口対応する提案は拒否されてしまったので、実現できていてうらやましい。 ・担当がいらない事務は特定の人負担が大きくまたその負担も可視化されにくいのでとてもいいカイゼンだと思った。 	



タイトル	窓口周辺環境カイゼン～ふれあいセンター内土足化（一部を除く）と多目的テーブル・椅子の設置～（大槻行政センター及び大槻公民館）	
カイゼン前	ふれあいセンター内に入るとき、下足を脱がなくてはいけないため、高齢者や幼児が着脱時や慣れないスリッパを履いたときに転倒のリスクが高くなっている。窓口が狭いため、住宅地図の確認作業時に不便であった。また、混雑時に窓口や記載台が足りないことがある。	
カイゼン内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホール・和室・実習室・男女トイレ以外は下足でも入れるようにした。 ・広めのテーブルと椅子を2セットロビーに設置した。 	
カイゼン後	<ul style="list-style-type: none"> ・下足の着脱がなくなったことで、スムーズに施設内に入ることができるようになり、転倒のリスクも減った。 ・広めのテーブルで相談対応を行えるようになり、確認作業がスムーズになった。また、混雑時にテーブル・椅子を窓口や記載台の代用として活用できるようになった。さらに、待合や地域活動の話し合いに使用されていることもあり、センター内の交流の場ともなっている。 	
投票者からのコメント抜粋	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもや子育て世帯にやさしいまちづくりに寄与している。 ・市民も職員もウェルビーイングである。 	

《大槻ふれあいセンター窓口周辺環境カイゼン》

- ふれあいセンター内に入るとき下足を脱がなくてはいけないため、高齢者や幼児が着脱時や慣れないスリッパを履いたときに転倒のリスクが高くなっている。大ホール・和室・実習室・男女トイレ以外は、下足でも入れるようにする。
- 行政センターの地域要望等の相談対応で、住宅地図の確認作業が必要であるが、現在の窓口が狭いため広めのテーブルで相談対応が出来るようにする。また、その他の窓口混雑時も多目的に活用できるようにする。

ポイント1

窓口付近にテーブルを置くことで、説明時に利用したり、地域の交流スペースとして活用されるようになりました。

大槻ふれあいセンター窓口周辺環境カイゼン（前・後写真）

ポイント2

施設内一部スペースを土足で利用できるようにしたことで、利用者の利便性向上につながりました。

大槻ふれあいセンターご利用の皆様へ

研修室及び図書室等を**土足で利用**できます

日頃から大槻ふれあいセンターの利用に際し、皆様にご協力いただいております。これまで大槻ふれあいセンター内は土足での利用を制限しておりましたが、利用者の利便性の向上をはかるため、一部を除き、下記の通り土足利用を可能にするまいといたしました。皆様にご協力いただけますよう、引き続き、ご協力をお願いします。

- 実施日 **2022.4.26（金） 5月22日（金）**
- 土足利用可能な場所

場所	利用上の注意
大ホール	受付スリッパ、または特設した上履きをご利用ください。
和室	和室入口のスペースで靴を脱いでください。（付帯設備）
実習室	入口前の下駄箱に靴を入れ、実習室の受付サンダルをご利用ください。
男女トイレ	トイレ用スリッパに履き替えをお願いします。

大槻行政センター 大槻公民館